

特別史跡加曾利貝塚 新博物館 各室諸元表

室名	建築									電気設備										機械設備															
	二重床	床荷重	床仕上げ	壁仕上げ	天井仕上げ	カーブアライツ	高気密高断熱	その他	備考	照度 lx	演色性 Ra	一般コンセント	特殊機器コンセント	非常電源(空調)	非常電源(照明・コンセント)	TEL	LAN	館内放送音量調節	TV	インターホン・トビ呼出	映像・音響機器	舞台照明音響	デジタルサイン	空調	夏季空調(上:温度/下:湿度)	冬季空調(上:温度/下:湿度)	換気	空調間欠運転	空気清浄度	給排水	給湯	漏水対策	ガス消火設備		
	建築									電気設備										機械設備															
【施設:新博物館】		建築構造設計基準の資料(国土交通省 大臣官房官庁営繕部整備課監修 令和3年版)表4.1積載荷重				計画により、窓が無い場合は不要		Pレゾナンス								職員:有線LAN 来館者:公共無線LAN								「○」の無い廊下・バックヤードやWC等についても、他室空調の力スケード利用などにより良好な温熱環境を確保				I(一般開閉時間) II(施設管理時間) III(24時間)	下表による						
【収蔵】																																			
収蔵庫 共通																																			-
一般収蔵庫	○	一般書庫、倉庫等2層分	-	-	-	-	○	-	壁床天井二重構造	100	-	○	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	○	28℃以下 55±5%	18℃以上 55±5%	○	III	-	-	-	○	○		
写真図面収蔵庫	○	一般書庫、倉庫等	-	-	-	-	-	-	壁床天井二重構造	100	-	○	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	○ ドライキャビネット設置	28℃以下 55±5%	18℃以上 55±5%	○	III	-	-	-	○	○		
特別収蔵庫・前室	○	一般書庫、倉庫等	-	調湿性能	調湿性能	-	○	-	壁床天井二重構造	100	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	24℃±2℃ 55±5%	20℃±2℃ 55±5%	○	III	II	-	-	○	○		
一時保管庫・前室	○	一般書庫、倉庫等	-	調湿性能	調湿性能	-	○	-	壁床天井二重構造	100	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	24℃±2℃ 55±5%	20℃±2℃ 55±5%	○	III	II	-	-	○	○		
展示エリア搬入口トラックヤード(屋内)	-	自動車車庫及び自動車通路(床・小梁用についてはトラック輪圧の検討を行う)	-	-	-	-	-	-	-	150	-	○	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	
荷解室	-	一般書庫、倉庫等	-	-	-	-	-	-	-	150	-	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	
作業室	-	一般書庫、倉庫等	-	-	-	○	-	-	-	500	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	○	一般	一般	○	II	-	-	-	-	-	-	
作業室用倉庫	-	一般書庫、倉庫等	-	-	-	-	-	-	-	100	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	

	I	II	III
粉塵 (mg/m ³)	0.15以下	0.15以下	0.15以下
CO (ppm)	6以下	6以下	6以下
CO ₂ (ppm)	1000以下	1000以下	1000以下
揮発性有機化合物 (ppb)	30以下	30以下	30以下
H ₂ O・CH ₃ OH (ppb)	20以下	80以下	80以下
酢酸 (有機酸) (ppb)	40以下	170以下	170以下
壬酸 (有機酸) (ppb)	10以下	10以下	10以下

特別史跡加曾利貝塚 新博物館 各室諸元表

室名	ゾーニングA	ゾーニングB	①特徴・役割・使い方	②近接・隣接条件	③仕上げ	④設備・環境	⑤家具	⑥その他	基本的性能 ○:必要 -:不要 (建築・電気設備・機械設備共通)									
									面積 (㎡) または 収容人数	天井高 (m)	耐火	防犯	飲食	監視カメラ	音環境	重要文化財対応		
																	記載以外にも公開承認エリアとその他のエリアとは建築基準法上の防火区画を行う。	1:来館者・職員・関係業者 2:職員・関係業者・関係者 3:職員・関係業者(出入り許可)・関係者(出入り許可) 4:限られた職員
【調査・研究】																		
研究室	業務エリア	調査・研究エリア	・学芸員、客員研究員の研究スペースを確保する。(10人程度のスペース) ・企画展等の展示企画・一部パネル作成にも対応する。	・収蔵エリア、収蔵・発掘資料整理室に近接。 ・探求型展示のオーブンラボとバックヤードを介した動線確保。 ・分析研究室の共通化も可能。ただし、面積要件を満足すること。		・研究活動用のワークステーション(業務用PCとは別にした調査・研究目的のPC)設置する。 ・展示制作用の大型プロッターおよびプリンター複合機・3Dプリンターを設置する。 ・研究データ用NASを設置する。			10人程度	-	-	3	○	-	III	-		
ミーティングルーム	業務エリア	調査・研究エリア	・学芸員の会議、研究セミナーなどを開催。 ・オンライン会議ができる設備を備える。 ・作業スペースも兼ねる 企画展等の展示企画・一部パネル作成にも対応。 ・10名程度の休憩スペースに活用。	・研究室に近接する。		オンライン会議用大型モニターを設置する。				-	-	3	○	-	III	-		
書庫	業務エリア	調査・研究エリア	・研究図書を保管する ・集密書架を導入する	・研究室に近接または動線を確保する。		・可動式書棚を設置する。			80	-	○ 1時間	3	×	-	-	-		
収蔵・発掘資料整理室	業務エリア	調査・研究エリア	・収蔵資料の整理、調査、修復作業などを行う ・土器・石器等の実測図作成作業を行う ・出土資料の分類・接合作業を行う ・現生標本制作・動物骨・貝類などの分類整理などの諸作業にも対応する	・一部を加曾利ラボ内のオーブンラボとして観覧可能とする。		・大型作業台、PC、プリンタ複合機、を設ける。 ・天井ダクトレール電源を設置する。 ・5~10口の栓を備えた流し台を設ける(シャワーを備える)。			10人程度	-	-	3	×	-	III	-		
研究エリア搬入口	業務エリア	調査・研究エリア	・調査研究エリアへの資料等搬出入口。 ・主に、洗浄前の発掘出土資料や外部収蔵庫からの資料の搬出入に使用する。 ・展示エリアの搬入口とは別に設ける。	・収蔵・発掘資料整理室との動線を確保する。 ・車寄せ、自家用車による搬入も考慮する。						-	-	2	×	○	-	-		
調査機材庫	屋外水洗場	業務エリア	調査・研究エリア	・出土遺物・貝サンプル等の水洗を行う。 ・大型の資料や、屋外での洗浄が必要なもの。 ・資料の乾燥場所を設ける	・研究エリア搬入口と近接。	・水栓4口以上を備えた流し台を遺物洗浄用に設ける。シンクは浅めで広いものとする。シャワーを備える。												
	業務エリア	業務エリア	調査・研究エリア	・発掘用道具、測量機器を保管し、屋外から使用する。	・研究エリア搬入口と近接	・調査用測量機材等(トータルステーション(自動追尾)・レベル)			40	-	-	3	×	-	-	-		
分析研究室	業務エリア	調査・研究エリア	調査・研究エリア	・顕微鏡・分析機器を用いた資料の分析を行う。 ・分析に必要な機器や標本収納室を備える。 ・動物骨・貝類や植物遺体などの分類整理を行う。	・研究室との共通化も可能。ただし、面積要件を満足すること。		・走査型電子顕微鏡(卓上型) ・蛍光顕微鏡 ・実体顕微鏡 ・SEM生物顕微鏡	・通常時・火災時を問わず、近接・隣接室からの水や消火剤の流入が生じないよう配慮する。		-	-	3	×	-	III	-		
	標本収納室	業務エリア	調査・研究エリア	・動物・貝・植物等の現生標本を保管する。	分析研究室と隣接 研究室内から直接出入り	・24時間空調 温湿度管理 ・年間を通して28°以下 湿度55%±5% ・標本庫			40	-	○ 1時間	3	×	-	-	-		
研究資料庫	業務エリア	調査・研究エリア	調査・研究エリア	・出土遺物・貝サンプル等、調査研究で使用する資料を保管する。 ・日常的に職員と資料が出入りする。 ・来館者から見える面にガラス張りの部分を設け、外部から研究資料庫を観覧可能な計画とする。	・収蔵・発掘資料整理室と隣接	・24時間空調 温湿度管理 ・年間を通して28°以下 湿度55%±5% ・収蔵棚(スチール製 中量棚 棚板耐荷重300kg)を設ける。	・テン箱FN(参考:第一合成) 1箱 440×1600mm×H150mm 250箱以上の収容能力		100	-	○ 1時間	3	×	-	-	-		
保存研究室	業務エリア	調査・研究エリア	調査・研究エリア	・薬品を用いた資料の保存処置や保存に関する研究を行う。 ・水浸木製品を取り扱う。 ・現生標本の製作を行う。 ・必要な機器を備える。	・収蔵・発掘資料整理室との共通化も可能。ただし、面積要件を満足すること。 ・収蔵エリアと隣接して配置	・水道および水回りを備える ・給湯器、冷凍庫、薬品庫等を備える ・ドラフトチャンバーを備える 参考型式: DALTON/DFC11-AA18-HA			20	-	-	3	×	-	III	-		
撮影室	業務エリア	調査・研究エリア	調査・研究エリア	・資料の写真撮影を行う ・フォトグラメトリにも対応する ・一部、史料撮影にも対応する	収蔵エリアに近接又は動線確保	・撮影台・背景紙・照明機材・カメラ用ブームスタンド等のスタジオ設備を備える。(詳細は別添資料3「什器・備品リスト」を参照) ・外光を遮光すること。 ・テザー撮影用PCを常備			30	3.8	-	3	×	-	III	-		

特別史跡加曾利貝塚 新博物館 各室諸元表

室名	建築									電気設備										機械設備															
	二重床	床荷重	床仕上げ	壁仕上げ	天井仕上げ	カーブアラウド	高気密高断熱	その他	備考	照度 lx	演色性 Ra	一般コンセント	特殊機器コンセント	非常電源(空調)	非常電源(照明・コンセント)	TEL	LAN	館内放送音量調節	TV	インターホン・トイ化呼出	映像・音響機器	舞台照明音響	デジタルサイン	空調	夏季空調(上:温度/下:湿度)	冬季空調(上:温度/下:湿度)	換気	空調間欠運転	空気清浄度	給排水	給湯	漏水対策	ガス消火設備		
	建築構造設計基準の資料(国土交通省 大臣官房官庁室補修整備課監修 令和3年版)表4.1積載荷重						計画により、窓が無い場合は不要		Pレゾナンス								職員:有線LAN 来館者:公衆無線LAN								「○」の無い廊下・バックヤードやWC等についても、他室空調の力スケード利用などにより良好な温熱環境を保つ				I(一般開館時間) II(施設管理時間) III(24時間)	下表による					
【調査・研究】																																			
研究室	○	事務室	-	-	吸音に配慮	○				500	-	○	○	-	-	○	職員用	○	-	-	-	-	-	○	一般	一般	○	II	-	-	-	-	-	-	
ミーティングルーム	○	事務室	-	-	吸音に配慮	○				300	-	○	-	-	-	○	職員用	○	-	-	-	-	-	○	一般	一般	○	II	-	-	-	-	-	-	
書庫	-	集密書庫	-	-	-	-				100	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	一般	一般	○	II	-	-	-	○	-		
収蔵・発掘資料整理室	-	事務室	-	-	吸音に配慮	○				500	-	○	-	-	-	○	職員用	○	-	-	-	-	-	○	一般	一般	○	II	-	○	-	-	-	-	
研究エリア搬入口	-	自動車車庫及び自動車通路(床・小梁用についてはトラック輪圧の検討を行う)	-	-	-	-				150	-	○	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	
屋外水洗場																																			
調査機材庫	-	一般書庫、倉庫等	-	-	-	-				100	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
分析研究室	○	事務室	-	-	吸音に配慮	○				500	-	○	○	-	-	○	職員用	○	-	-	-	-	-	○	一般	一般	○	II	-	-	-	○	○	-	-
標本収納室	-	一般書庫、倉庫等	-	-	-	-				100	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	28℃以下 55±5%	18℃以上 55±5%	○	III	-	-	-	○	-		
研究資料庫	-	一般書庫、倉庫等	-	-	-	-				100	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	28℃以下 55±5%	18℃以上 55±5%	○	III	-	-	-	○	-		
保存研究室	-	事務室	汚れをふき取りやすい仕上	汚れをふき取りやすい仕上	吸音に配慮	○				500	-	○	○	-	-	○	職員用	○	-	-	-	-	-	○	一般	一般	○	II	-	○	-	-	-	-	
撮影室	-	事務室	-	-	吸音に配慮	○				500	-	○	○	-	-	○	職員用	○	-	-	-	-	-	○	一般	一般	○	II	-	-	-	-	-	-	

特別史跡加曾利貝塚 新博物館 各室諸元表

室名	ゾーニングA	ゾーニングB	①特徴・役割・使い方	②近接・隣接条件	③仕上げ	④設備・環境	⑤家具	⑥その他	基本的性能 ○:必要 -:不要 (建築・電気設備・機械設備共通)										
									面積 (㎡) または 収容人数	天井高 (m)	耐火	防犯	飲食	監視カメラ	音環境	重要文化財対応			
																	記載以外にも公開承認エリアとその他のエリアとは建築基準法上の防火区画を行う。	1:来館者・職員・関係者 2:職員・関係者・関係者 3:職員・関係者(出入り許可)・関係者(出入り許可) 4:限られた職員	1:特に高い静音性 II:高い静音性 III:一般事務室程度
【展示】																			
展示室 共通	来館者エリア	常設展示エリア	・利用者の興味や利用形態ごとに、複数の順序を選択できるような計画とする。 ・外光の影響を受けない設計とする。																
探求型展示「加曾利ラボ」・展示室	有料来館者エリア	常設展示エリア	・実物資料の展示、考古実験等の体験を行う。 ・温湿度管理空調を備える。 ・実物資料を展示するための展示設備(展示ケース、展示用照明設備等)を設ける。			・大型壁面エアタイトケースが設置できる空間を確保する。 ・天井ダクトレール電源を設ける。			・通常時・火災時を問わず、近接・隣接室からの水や消火剤の流入が生じないよう配慮する。	500	3.8以上	○ 1時間	1	×	○	II	-		
探求型展示「加曾利ラボ」・アクティブラボ ・オープンラボ	有料来館者エリア	常設展示エリア	・調査・研究ゾーンで行われている学芸員の作業の様子を見られるよう、配慮を検討。 ・オープンラボは、収蔵・発掘資料整理室の一部を外部から見学できるものとする。 ・アクティブラボは「加曾利ラボ」展示室の一面に設ける。	・調査・研究エリアからバックヤードを介した動線を確保する。 ・収蔵発掘資料室、研究資料庫と隣接。		・天井ダクトレール電源			・通常時・火災時を問わず、近接・隣接室からの水や消火剤の流入が生じないよう配慮する。	上記に含む	3.8以上	○ 1時間	1	×	○	II	-		
没入型展示「縄文体験空間」	有料来館者エリア	常設展示エリア	・調査・研究の成果に基づき、映像などを用いて縄文時代のムラを再現した空間で、縄文の暮らし体験を行う。 ・縄文時代の景観への没入感を演出するため、できる限り天井高を確保する。 ・映像主体の展示とする。 ・ハンズオン用レプリカなども用意する。							300	3.8以上	○ 1時間	1	×	○	II	-		
対話型展示「未来ラウンジ」	有料来館者エリア	常設展示エリア	・来館者と学芸員、来館者同士が語り合う対話の場 ・活動の記録を蓄積し展示するアーカイブ機能を備える ・オンラインでの対外的な情報発信やコミュニケーションの拠点として必要な設備を備える ・図書室、レファレンスルームを兼ねる			・書架、PC、大型モニターを設置				50	3.8以上	○ 1時間	1	×	-	III	-		
企画展示室	有料来館者エリア	特別展示用エリア(公開承認)	・国宝や重要文化財を含む他館からの借用資料や収蔵資料を活用した企画展・特別展を開催する。 ・公開承認施設の基準に適合するよう、搬入口から企画展示室までの資料動線に対して、特に配慮した配慮とする。 ・貴重な資料を安定的に展示できるよう、温湿度管理空調、ガス消火設備、展示用照明設備、エアタイトケースを備える。 ・多様な展示に対応できるよう、可動間仕切を備える	・コレクション展示室と兼ねる ・展示準備室・備品倉庫に隣接する ・隣接諸室および建物外の環境からの室内温湿度への影響を低減する様、配慮すること。		・大型壁面エアタイトケースが設置できる空間を確保する。 ・国の公開承認施設の要件に合致すること。 ・室温環境は夏季24℃±2℃、冬季20℃±2℃を目安とし、季節による温度変動は緩やかなものとなるようにすること。 ・日照条件や方位に留意し、室内の温湿度環境を安定化させること。		・可動式壁で小部屋に区画できるようにすること ・2区画程度での分割使用を想定 ・通常時・火災時を問わず、近接・隣接室からの水や消火剤の流入が生じないよう配慮する。	210	3.8以上	○ 1時間	1	×	○	II	○			
コレクション展示室	有料来館者エリア	特別展示用エリア(公開承認)	・寄贈・寄託された日本全国の貝塚関連資料など、館のコレクション資料の展示を行う。 ・貴重な資料を安定的に展示できるよう、温湿度管理空調、ガス消火設備、展示用照明設備、エアタイトケースを備える。	・企画展示室と兼ねる ・展示準備室・備品倉庫に隣接する ・隣接諸室および建物外の環境からの室内温湿度への影響を低減する様、配慮すること。 ・日照条件や方位に留意し、室内の温湿度環境を安定化させること。					企画展示室に含む		3.8以上	○ 1時間	1	×	○	II	○		
展示ロビー(導入展示)	来館者エリア	常設展示エリア	・常設展示や企画展示へのきっかけとなる展示として、実物資料(厳密な温湿度管理が不要な資料等)展示などを行う。 ・縄文土器の集成展示、貝層断面or断面写真、貝塚出土具殿など。								3.8以上	○ 1時間	1	×	○	III	-		
展示準備室・備品倉庫	業務エリア	特別展示用エリア(公開承認)	・展示準備作業を行う。 ・展示備品の保管用倉庫を備える。 ・展示用各種消耗品を保管する。	・企画展示室に隣接または動線を確保する。 ・バックヤードとの動線を確保する。		・収蔵機(スチール製 中量棚 棚板耐荷重300kg)を設ける。 ・バックヤードなどの動線を確保する。				50	3.8以上	○ 1時間	4	×	○	-	○		
【教育・普及】																			
講堂	来館者エリア	常設展示エリア	・セミナーやワークショップを開催する。 ・映像・音響設備を備える。 ・2クラス同時に利用できる広さを確保する。 ・オンラインで各地を結んで会議などができる設備を備える。 ・講堂内に機材倉庫を設ける。 ・多様な利用に対応できるよう、部屋を3分割程度に分割できる可動間仕切を備える。						・スクリーン、音響設備を設ける。 ・80人程度の利用を想定した長机・椅子	客席 80人程度	-	-	1	○	-	II	-		
活動ルーム	来館者エリア	常設展示用エリア	・博物館友の会、土器づくり同好会、ガイドの会のメンバーや市民研究員の活動スペースと控え室を兼ねる。 ・作業机、ロッカー、コピー機等を備える。								-	-	1	○	-	III	-		
【史跡ガイダンス】																			
史跡・コアエリアのガイダンス	来館者エリア	常設展示エリア	・史跡全体や見どころの紹介、見学ルート案内などを行う ・プロジェクター・モニターなどで案内・説明が可能なスペースとする。	・エントランスホールに近接							-	-	1	○	-	-	-		
展望スペース(屋外)	来館者エリア	常設展示エリア												○					
【管理】																			
館長室・応接室	業務エリア	調査・研究エリア	・館長の執務室 ・応接室を兼ねる ・事務室と個室も可能とする。								-	-	3	○	-	III	-		
事務室	業務エリア	調査・研究エリア	・事務職員の執務室。12人程度のスペースを設ける。							12人程度	-	-	3	○	-	III	-		
会議室	業務エリア	調査・研究エリア	・事務職員やスタッフの会議を開催。10人程度の会議に対応する。 ・オンライン会議が可能な設備を備える。			オンライン会議用大型モニターを設置する。				10人程度	-	-	3	○	-	III	-		

特別史跡加曾利貝塚 新博物館 各室諸元表

室名	建築										電気設備										機械設備													
	二重床	床荷重	床仕上げ	壁仕上げ	天井仕上げ	カーペット	高気密高断熱	その他	備考	照度 lx	演色性 Ra	一般コンセント	特殊機器コンセント	非常電源(空調)	非常電源(照明・コンセント)	TEL	LAN	館内放送音量調節	TV	インターホン・トイ呼出	映像・音響機器	舞台照明音響	デジタルサイン	空調	夏季空調(上:温度/下:湿度)	冬季空調(上:温度/下:湿度)	換気	空調間欠運転	空気清浄度	給排水	給湯	漏水対策	ガス消火設備	
		建築構造設計基準の資料(国土交通省 大臣官庁官庁密着部整備課 令和3年版 表4.1積載荷重)																																
【展示】																																		
展示室 共通																																		
探求型展示「加曾利ラボ」・展示室	○	観覧場その他これらに類する用途に供する建築物の集会室(その他)	滑りにくい素材							150	Ra>90	○	-	-	○	来館者用	○	-	-	○	-	○		○	28℃以下 55±5%	18℃以上 55±5%	○	Ⅲ	-	-	-	○	○	
探求型展示「アクティブラボ」・オープンラボ	○	観覧場その他これらに類する用途に供する建築物の集会室(その他)	滑りにくい素材							150	Ra>90	○	-	-	○	来館者用	○	-	-	-	-	○		○	28℃以下 55±5%	18℃以上 55±5%	○	Ⅲ	-	-	-	○	○	
没入型展示「縄文体験空間」	○	観覧場その他これらに類する用途に供する建築物の集会室(その他)	滑りにくい素材							qa	Ra>90	○	-	-	○	来館者用	○	-	-	○	-	○		○	一般	一般	○	I	-	-	-	○	-	
対話型展示「未来ラウンジ」	○	観覧場その他これらに類する用途に供する建築物の集会室(その他)	滑りにくい素材							300	-	○	-	-	○	来館者用	○	-	-	○	-	○		○	一般	一般	○	I	-	-	-	○	-	
企画展示室	○	観覧場その他これらに類する用途に供する建築物の集会室(その他)	滑りにくい素材							150	Ra>90	○	-	-	○	来館者用	○	-	-	-	-	-		○	24℃±2℃ 55±5%	20℃±2℃ 55±5%	○	Ⅲ	Ⅱ	-	-	○	○	
コレクション展示室	○	観覧場その他これらに類する用途に供する建築物の集会室(その他)	滑りにくい素材							150	Ra>90	○	-	-	○	来館者用	○	-	-	-	-	-		○	24℃±2℃ 55±5%	20℃±2℃ 55±5%	○	Ⅲ	Ⅱ	-	-	○	○	
展示ロビー(導入展示)	○	観覧場その他これらに類する用途に供する建築物の集会室(その他)	滑りにくい素材							200	Ra>90	○	-	-	○	来館者用	○	-	-	-	-	○		○	一般	一般	○	I	-	-	-	○	-	
展示準備室・備品倉庫	-	一般書庫、倉庫等	-	-	-	○				150	-	○	○	-	-	○	職員用	-	-	-	-	-		○	28℃以下 55±5%	18℃以上 55±5%	○	Ⅲ	Ⅱ	-	-	-	○	
【教育・普及】																																		
講堂	-	観覧場その他これらに類する用途に供する建築物の集会室(その他)	-	-		○				300	-	○	○	-	-	○	来館者用	○	-	-	○	○		○	一般	一般	○	I	-	-	-	-	-	
活動ルーム	-	事務室	-	-		○				500	-	○	-	-	○	来館者用	○	-	-	-	-	-		○	一般	一般	○	I	-	-	-	-	-	
【史跡ガイダンス】																																		
史跡・コアエリアのガイダンス	-	観覧場その他これらに類する用途に供する建築物の集会室(その他)	滑りにくい素材							500	-	○	-	-	○	来館者用	○	-	-	○	-	○		○	一般	一般	○	I	-	-	-	-	-	
展望スペース(屋外)		観覧場その他これらに類する用途に供する建築物の集会室(その他)																																
【管理】																																		
館長室・応接室	○	事務室	-	-		○				500	-	○	-	-	○	職員用	○	-	-	-	-	-		○	一般	一般	○	Ⅱ	-	-	-	-	-	
事務室	○	事務室	-	-		○				500	-	○	○	-	○	職員用	○	-	○	-	-	-		○	一般	一般	○	Ⅱ	-	-	-	-	-	
会議室	○	事務室	-	-		○				300	-	○	-	-	○	職員用	○	-	-	-	-	-		○	一般	一般	○	Ⅱ	-	-	-	-	-	

特別史跡加曾利貝塚 新博物館 各室諸元表

						基本的性能 ○:必要 -:不要 (建築・電気設備・機械設備共通)											
						面積 (㎡) または 収容 人数	天井高 (m)	耐火	防犯	飲食	監視 カメラ	音環境	重要文化財対応				
室名	ゾーニングA	ゾーニングB	①特徴・役割・使い方	②近接・隣接条件	③仕上げ	④設備・環境	⑤家具	⑥その他									
インフォメーション	来館者エリア	常設展示用エリア	・来館者の受付事務を行う。			・受付カウンター				-	-	3	-	-	Ⅲ	-	
スタッフ室	業務エリア	調査・研究エリア	・事務職員以外のスタッフの執務室。	エントランスホール・インフォメーションに近接または動線を確保						10人程度	-	-	3	○	-	Ⅲ	-
ガイド待機ルーム	来館者エリア	常設展示用エリア	・史跡ガイドや博物館ガイドの待機スペース。	各展示室との円滑な動線を確保							-	-	2	○	-	Ⅲ	-
警備員室	業務エリア	調査・研究エリア	・警備員の執務室 ・セキュリティ設備のほか、警備員の休憩スペースも備える								-	-	3	○	-	Ⅲ	-
湯沸室	業務エリア	調査・研究エリア		事務室に近接		・ミニキッチン					-	-	3	○	-	-	-
更衣室	業務エリア		・男女別に設ける。	事務室に近接		・ロッカー				30人程度	-	-	3	○	-	-	-
倉庫	業務エリア			事務室に近接							-	-	3	×	-	-	-
ベビースペース	来館者エリア	常設展示用エリア	・おむつ替え台及び授乳スペースを設ける。	エントランスホールに隣接		・プライバシーに配慮した計画とすること。 ・流し台					-	-	1	○	-	-	-
救護室	来館者エリア	常設展示用エリア	・大人用ベッドを設ける。			・プライバシーに配慮した計画とすること。					-	-	1	○	-	-	-
トイレ	来館者エリア	常設展示用エリア									-	-	1	-	-	-	-
多機能トイレ	来館者エリア	常設展示用エリア				・オストメイト対応とする。					-	-	1	-	-	-	-
業務用トイレ	業務エリア	調査・研究エリア									-	-	2	-	-	-	-
【共用(電気・機械)】																	
エントランスホール	来館者エリア	常設展示用エリア				・AEDを設置 ・貸出用車いす・ベビーカーを用意 ・来館者が休憩できる設備・環境を設ける。					3.8以上	-	1	×	○	-	-
廊下、階段	業務エリア	調査・研究エリア									-	-	1	×	-	-	-
エレベーター	展示エリア エレベーター	来館者エリア	常設展示エリア	・ストレッチャーと救急隊員が無理なく入れる面積のエレベーターを設置する。													
	文化財用エレベーター	業務エリア	特別展示用エリア(公開承認)	・関係者用(人/荷物)・文化財専用のエレベーターを設置する。 ・積載重量1.3ton以上、かこ内寸法幅1.8m以上・奥行2.4m以上を確保する。	・文化財用のエレベーターは荷解き場に隣接。												
機械室	業務エリア		・中央監視室、空調機械室、電気設備室、給排水設備、ガスボンベ車など			・騒音、振動が発生する場合は展示室及び写場に隣接しない。					-	-	3	×	-	-	-
【施設:飲食スペース・ミュージアムショップ】																	
飲食スペース	来館者エリア	常設展示用エリア	・新博物館や史跡の見学・体験をサポートする。 ・博物館とは構造上分離し、博物館と一体性のある意匠とすることを想定している。	・来館者からの視認性を配慮した配置とすること。 ・博物館とは隣接配置とする。		・営業に必要な什器備品、厨房機器等については事業者が整備する。					合計180						
ミュージアムショップ	来館者エリア	常設展示用エリア	・乳幼児からお年寄りまで、多世代が快適に過ごせる空間とする。 ・食材のおいが展示室等に拡散しないよう、しっかりとした排気機能を備え、設置場所も考慮する。			・飲食スペースへの食材や廃棄物の搬入は、開館時間中の来館者の動線と交錯させない。					150	-	-	1	○	-	-
	来館者エリア	常設展示用エリア	・新博物館の刊行物、体験に必要な道具類、オリジナル商品、土産物などを販売。								30	-	-	1	-	-	-
【施設:土器づくり工房(別棟)】																	
土器づくり工房	別棟		・一般来館者による土器づくり体験を行う。 ・木造平屋を想定している。	・別棟とする。		・保管室、作業台、乾燥棚、土器サンプル展示台、電気釜等を備える。					合計50						
											50	-	-	1	-	-	-

特別史跡加曾利貝塚 新博物館 各室諸元表

室名	建築										電気設備										機械設備														
	二重床	床荷重	床仕上げ	壁仕上げ	天井仕上げ	カーブ・アラウンド	高気密高断熱	その他	備考	照度 lx	演色性 Ra	一般コンセント	特殊機器コンセント	非常電源(空調)	非常電源(照明・コンセント)	TEL	LAN	館内放送音量調節	TV	インターホン・トビ出し	映像・音響機器	舞台照明音響	デジタルサイン	空調	夏季空調(上:温度/下:湿度)	冬季空調(上:温度/下:湿度)	換気	空調間欠運転	空気清浄度	給排水	給湯	漏水対策	ガス消火設備		
	建築										電気設備										機械設備														
		建築構造設計基準の資料(国土交通省 大臣官務官庁室補修部監修 令和3年版)表4.1積載荷重				計画により、窓が無い場合は不要		Pレゾナンス									職員:有線LAN 来館者:公衆無線LAN							「○」の無い廊下・バックヤードやWC等についても、他室空調の力スケード利用などにより良好な温熱環境を確保				I(一般開館時間) II(施設管理時間) III(24時間)	下表による						
インフォメーション	○	事務室	-	-	-	○				500	-	○	-	-	-	○	職員用	○	-	-	-	-	-	○	一般	一般	○	II	-	-	-	-	-	-	
スタッフ室	○	事務室	-	-	吸音に配慮	○				500	-	○	-	-	-	○	職員用	○	-	-	-	-	-	○	一般	一般	○	II	-	-	-	-	-	-	
ガイド待機ルーム	○	事務室	-	-	吸音に配慮	○				500	-	○	-	-	-	○	職員用	○	-	-	-	-	-	○	一般	一般	○	II	-	-	-	-	-	-	
警備員室	○	事務室	-	-	吸音に配慮	○				500	-	○	○	-	○	○	職員用	○	-	○	-	-	-	○	一般	一般	○	II	-	○	○	-	-	-	
湯沸室	-	事務室	汚れを拭き取りやすい素材	汚れを拭き取りやすい素材	-	-				200	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	○	-	-	-	-	
更衣室	-	事務室	-	-	吸音に配慮	○				500	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	一般	一般	○	II	-	-	-	-	-	-	
倉庫	-	一般書庫、倉庫等	-	-	-	-				100	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	
ベビースペース	-	事務室	汚れを拭き取りやすい素材	汚れを拭き取りやすい素材	-	-				200	-	○	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-	○	一般	一般	○	I	-	○	○	-	-	-	
救護室	-	事務室	汚れを拭き取りやすい素材	汚れを拭き取りやすい素材	-	-				200	-	○	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-	○	一般	一般	○	I	-	○	○	-	-	-	
トイレ	-	事務室	汚れを拭き取りやすい素材	汚れを拭き取りやすい素材	-	-				200	-	○	-	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	○	-	-	-	-
多機能トイレ	-	事務室	汚れを拭き取りやすい素材	汚れを拭き取りやすい素材	-	-				200	-	○	-	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	○	-	-	-	-
業務用トイレ	-	事務室	汚れを拭き取りやすい素材	汚れを拭き取りやすい素材	-	-				200	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	○	-	-	-	-
【共用(電気・機械)】																																			
エントランスホール	-	観覧場その他これらに類する用途に供する建築物の集会室(その他)	滑りにくい素材	-	-	-				500	-	○	-	-	○	○	来館者用	○	-	○	-	-	○	○	一般	一般	○	I	-	-	-	-	-	-	
廊下、階段	-	観覧場その他これらに類する用途に供する建築物の集会室(その他)	滑りにくい素材	-	-	-				150	-	○	-	-	○	-	来館者用	-	-	-	-	-	○	○	一般	一般	○	I	-	-	-	-	-	-	
エレベーター	展示エリア エレベーター																																		
エレベーター	文化財用エレベーター																																		
機械室	-	計画による	-	吸音に配慮	吸音に配慮	-				100	-	○	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	
【施設:飲食スペース・ミュージアムショップ】																																			
飲食スペース	-	観覧場その他これらに類する用途に供する建築物の集会室(固定席)	滑りにくい素材	-	-	○				300	-	○	-	-	-	○	来館者用	○	-	-	-	-	-	○	一般	一般	○	I	-	○	○	-	-	-	
ミュージアムショップ	-	観覧場その他これらに類する用途に供する建築物の集会室(固定席)	滑りにくい素材	-	-	○				300	-	○	-	-	-	○	来館者用	○	-	-	-	-	-	○	一般	一般	○	I	-	-	-	-	-	-	
【施設:土器づくり工房(別棟)】																																			
土器づくり工房	-	事務室	汚れをふき取りやすい仕上	汚れをふき取りやすい仕上	-	○				500	-	○	-	-	-	○	来館者用	○	-	-	-	-	-	○	一般	一般	○	I	-	○	○	-	-	-	